

かんけいどうぶつ 環形動物

かんけいどうぶつ なかま 環形動物の仲間

多毛類、貧毛類、ヒル類の3つのグループが含まれます。海では、3グループ全てがみられますが、とくに多毛類は個体数が多く、様々な形のものがあります。反対に淡水と陸上では、貧毛類とヒル類が多く、多毛類はごく少数です。多毛類の多くはオスとメスの区別がありますが（雌雄異体）、貧毛類とヒル類のほとんどはオスとメスの区別がなく（雌雄同体）、ひとつの個体がオスメス両方の器官を備えています。

たもうるい なかま 多毛類 ゴカイの仲間



トゲウロコムシ



ウミケムシ



オニイソメ



スジコムシ



テグサミズヒキ



サメハダホシムシ



クマノアツキ



スピオ科の一種



ケヤリムシ



ホラアナゴカイ科の一種

ひんもうるい なかま 貧毛類 ミミズの仲間



フトミミズ科の一種

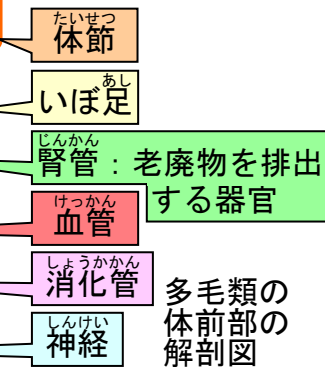
るい なかま ヒル類 ヒルの仲間



カニビル

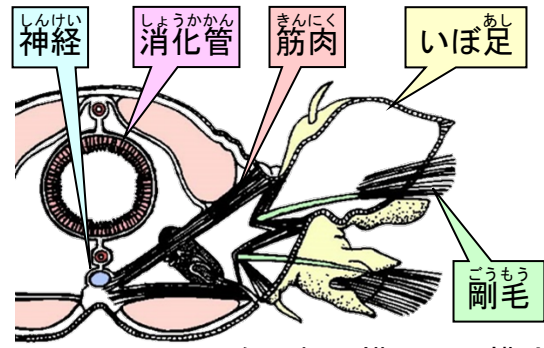
たいせつ 体節

環形動物の体は、体節と呼ばれるたくさんの節が連なってできています。神経節、血管、筋肉、いぼ足、腎管などの主要な器官は体節ごとに配置されています。



いぼあしとごうもう いぼ足と剛毛

環形動物の各体節には神経節があり、多毛類では運動器官である左右1対のいぼ足があつて先端に剛毛を供えています。貧毛類はいぼ足はありませんが、剛毛を持っています。ヒル類はごく一部を除き、いぼ足も剛毛もなく、移動にはおもに体の前後端にある吸盤を使います。



多毛類の横断面の模式図

繁殖

幼生

多毛類の多くは雌雄異体で、体外受精を行い、卵からトロコフォア幼生を経て、発生します。これに対し、貧毛類とヒル類の多くは雌雄同体で、体内受精し、卵は直接発生し親と同じ形の若虫となって孵化します。